自分で創る自分の将来

國學院大學

ガイドブック for 2021

















KOKUGAKUIN UNIVERSITY

Faculty of Law



もっと日本を。もっと世界へ。







法学部長挨拶

「法学部での学びがよく分からない」という声を、ほかならぬ法学部生から聞くことがあります。大学入試の際に、あまり深く考えなかったけれど、実際のところ、自分は、別に法律家になりたいわけでも、政治家を目指しているわけでもないのに、どうして法律や政治について専門的な勉強に四苦八苦しなければならないのか、というわけです。しかしながら、このような悩みは、法学部生にとって、学習の意義を問う良いきっかけになりますし、将来を定める際に避けては通れない関門といえます。

前提として、法律や政治は、私たちが生きる社会と連動した一種のシステムです。ということは、法律学や政治学の最終的な目標は、「自分たちの社会が現在どのようなものであるのかを知り、自分たちの社会を今後どのようなものとしていくのかについて考える」という点に求められることになります。

そのうえで、法学部での学習は、このような目標との関係で、いかに位置づけられるのでしょうか。ここで、昨今の世論に目を向けると、極論同士が激しく衝突し、その際には、両者がどこまでも感情論に終始したり、自身にとっての正義を掲げて相手を一方的に攻撃するといった場面が珍しくありません。このような平行線を打破するためには、相対立する複数の見解に、客観的に耳を傾け、それぞれの長所と短所を丁寧に分析し、その結果として自身の支持するに至った立場を、反対する相手方との会話の中で、冷静に説明し、相手方からの反応にも答えながら、最終的には相互の納得を達成するという姿勢と技能が必要となります。こうした論理的な思考、すなわち「理屈」こそ、法学部での学びを通じて法学部生が得る最大の収穫であり、法律や政治の専門的な知識は、意見構築と相手方の説得にとって最大の武器となりえます。

園學院大學法学部では、このような学びを提供すべく、「法律専門職専攻」、「法律専攻」および「政治専攻」の3つを設け、それぞれにおいて、4年後の将来を見据え、双方向学習を目指すプログラムを用意しています。本ガイドブックが、皆さんを國學院大學法学部の入口へと誘う「導きの書」となることを心から期待しています。

國學院大學法学部長 一木 孝之



國學院大學法学部 facebook

國學院大學法学部facebookでは國學院 大學法学部の現在をヴィヴィッドにお伝え しています。アクティブ・ラーニング型授 業の動画からゼミ紹介、学内イベント、オー プンキャンパス情報まで、様々な情報を配 信しております。ぜひご覧下さい。

https://www.facebook.com/
kokugakuinlaw

- 國學院大學法学部facebookは、 facebookのアカウントをお持ちでない 方も見ることができます。
- facebookのアカウントをお持ちの方は、國學院大學法学部facebookに「いいね!」を押していただくことで、自動的にご自分のfacebookに情報が送られてきます。どうぞご活用下さい。





自分を鍛え、自らを律する

法律専門職専攻

■法律のプロフェッショナルを目指す人へ

法律専門職専攻は、将来、法律関係の専門的職業に就くことを志望する人のための専攻です。具体的には、裁判官・検察官・弁護士をはじめ、司法書土・行政書士などの資格職や裁判所書記官・事務官に加えて、国家公務員、地方公務員、民間企業の法務職などを目標にする人を対象としています。

■基礎を固めた後に、 演習・展開科目へ

法律専門職専攻は、将来これらの 専門的職業に就くことを既に希望し ていて、大学においてそのための勉 強を集中的に進めようとしている人 に最適の専攻です。早い段階から法 (律)学に関する 「基礎からの徹底 教育」を行い、「体系的・積み上げ 型教育」を施すことによって、基礎 から応用の勉強までしっかり取り組 むことができます。

■学生と教員の距離が近い「少人数教育」

法律専門職専攻の最大の特色は、「少人数教育」です。 学生と教員の距離が近く、学生と教員の対話を通じて 知識を深めていくなど「双方向性」を確保しやすい教 育環境が整備されています。



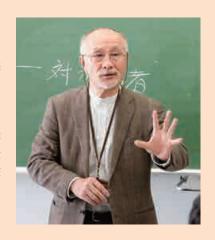
Message

関 哲夫 教授 (刑法)

刑法は2分野に分かれ、「刑法総論」は、「刑法」の「第1編 総則」を対象に、基本原則、一般的成立要件、犯罪(者)の成立を排除する事由、刑罰、刑法の適用範囲などを学習します(いま1つは「刑法各論」です)。

犯罪(者)は、まず、①その成立要件を充たす必要があり、これを法律要件(構成要件)該当性といいます。次に、②行為が違法である必要があり、正当防衛など違法性を排除する事由が無いことで確認します。さらに、③行為者が有責である必要があり、責任無能力など有責性を排除する事由が無いことで確認します。つまり、「法律要件該当性-違法性-有責性」を確定するのが犯罪(者)認定の作業なのです。

セメスター制により、刑法総論は2つに分けられ、Iは①法律要件該当性を、Iは②違法性・③有責性を学習します。刑法第8条で明らかなように、刑法総論はすべての刑罰法規に妥当する内容ですから重要です。





基本を学び、自分で組み立てる 法律専攻

■基本を学び、幅広い科目から選択する

法律専攻は、法律や政治を学びながら将来の方向性 を見つけたいと考えている人に適した専攻です。

法学部を卒業した後の進路は、公務員・教員、民間企業への就職、法科大学院ほかの大学院進学など様々です。そこで、國學院大學法学部は、法律や政治に関心はあるが将来の方向性については思索中の方のために、法律専攻を用意しました。

法律専攻には、「法律学の基本と応用」コースと「政治と法の基礎」コースの2コースが設けられています。 「法律学の基本と応用」コースのカリキュラムは、易しい内容から難しい内容へと段階的に学ぶスモール・ステップの考え方に基づいています。「政治と法の基 礎」コースのカリキュラムは、基礎法学や政治についても幅広く学ぶことができるよう設計されています。

1年生は、「公法入門」「刑事法入門」「民事法入門」などの科目から法律の基本を学びはじめるとともに、大学で学ぶことの意義と将来の目標について考えるための「キャリア・プランニング」という科目を履修します。その後、コース毎に設定された特徴的な科目群の中から一定数の科目を修得すれば、それ以外の科目の履修については、将来の方向性を見据えて学生が自分で自由に組み立てることができます。この意味で、法律専攻は、柔軟に履修科目を選択できる専攻です。

●「公法入門」「刑事法入門」「民事法入門」とは?

法律専攻では、初学者が1年次後期からはじまる本格的な法学学修にスムーズに取り組むことができるよう準備するための科目として、1年次前期に「公法入門」「刑事法入門」「民事法入門」が開講されます。これらの科目の授業は、アクティブ・ラーニング(能動的学習)の諸技法を活用するなどして実施されます。

●「キャリア・プランニング」とは?

法律専攻では、自分の将来の進路・目標について考えてもらうため、1年次に「キャリア・プランニング」を受講します。ここでは、「働くこと」に関心を持った上で、どのような企業があるか?自分の得意分野・苦手分野は何か?他者と協力して働くことができるか?自分を表現できるか?就職に必要な基礎知識・応用能力はあるか?といった内容を学んでいきます。自分にあった仕事を見つけることは、これからの人生を有意義に過ごすためにも重要です。そのための土台をしっかり築き上げていきます。

■2つのコース (2018年度より)

法律学の 基本と応用 コース 法という規範(ルール)は、社会で発生した紛争(トラブル)を処理したり、紛争(トラブル)が生じないよう 予め諸利益を調整したりする機能を有します。このコースでは、いわゆる六法(憲法・民法・刑法・商法・ 民事訴訟法・刑事訴訟法)や行政法・国際法などについてひろく学んだうえで、その後は各自の志向に応じ て専門性を高めます。これらの学びを通じて、法的知識を活用して問題の本質を捉え、これに論理的解決を 与える力を涵養します。

政治と法の 基礎 コース 法というルールは、社会においてトラブルを解決したり、トラブルが生じないように様々な利益を調整するという形で機能します。そして法は、主に国会における政治的な議論を通じて作られ、一人ひとりの国民は、国会などにおける自分たちの代表者を選挙という政治制度を通じて選んでいます。このコースでは、法、政治または社会の現状を把握し、それらのあり方や機能を歴史的な、またはグローバルな観点から分析し、さらにその分析の結果から社会にある問題を発見・解決する能力を涵養します。



自分で動く、自分で論じる

政治専攻

政治専攻は、「政治を勉強したい」という明確な目標を持った人のための専攻です。本学の政治専攻の特色を3つ挙げるとすれば、「歴史」・「現場」・「討論」ということになります。

■「歴史」を知る

まずは「歴史」です。現代の政治を理解するにも、 歴史的な視点から分析することが重要です。日本政治 史・西洋政治史・国際関係史などの歴史系科目は特に 1・2年次に受講することになります。

■「現場」を見る

次に「現場」です。政治を理解するには、「政治の現場」を知ることも大切です。そのためにインターンシップやフィールドワークの形で体験してもらう科目を設けておりますし、オムニバス・セミナーなどで「現場」で活動する人たちの話を聞くこともできます。

■「討論」で磨く

最後は「討論」です。政治というものは他者との討論で展開してゆくものです。そのために、政治専攻では1年生全員が「基礎演習A・B」を受講します。また、2年生以降は演習を2つまで履修できるようにしています。さらに、「討論」の教育を充実させるために、政治専攻は「少人数の学生と多人数の専任教員」で教育を行います。



2つのコース

分析と応用 コース 将来的に政治家やジャーナリスト、NPO職員といった形で直接政治と関わりを持ちたいという人向けのコースです。「歴史」などの基礎知識を得た上で、「現場」の経験を生かし、培った「討論」の能力を活用してください。特に「政治インターンシップ」が重要です。

理論と歴史 コース 政治の現場よりも理論を深く学びたいという人向けのコースです。進路としては、政治家に限らず、一般企業や公務員・教員として働くことも想定されています。

Message

藤嶋 売 教授 (比較政治)

政治学は捉えどころのない学問です。それは人間の考えることや行動、感情に捉えどころがないことの反映と見ることもできますが、そこに何ともいえない面白さがあります。 政治学を学ぶ意義の一つは、社会、そして人間に対する多面的な見方を身につけることだといえるでしょう(それは社会における問題解決のための手がかり・技法ともなります)。

しかし多面的な見方というものは、そうしようと思ったからといって、すぐにできるものではありません。さまざまな国や地域の実情を知り、先人たちの知的格闘に触れ、歴史

こと実感できるはずです。政

の重みを理解する、あるいは現場での体験などを通じて、初めて視野(地平)が少し広がったと実感できるはずです。政治専攻では、そのような機会をたくさん用意しています。多様な意見に触れ、議論を戦わせる、あるいは一つの問題についてとことん考え抜く、大学時代ならでは学びの場を、一緒につくっていきましょう。

入試制度について

入学試験……多様な入試制度

法学部では、様々な能力を有する学生を幅広く集めるために、多様な入試の制度を設けています。

アドミッション・ポリシー…法学部が求める学生

法学部は、法律学・政治学に関する知識・理論を理解し、これらを活用して価値観の多様化する現代社会に主体的に参画し、社会の様々な分野で活躍できる人間を育成します。このため本学部は、本学部で法律学・政治学の研鑽に努めることに強い意欲を有し、本学部の教育課程を通じて培った専門的知識や能力を活かして、社会に主体的に参画したいと考える学生を受け入れます。

●求める人材、期待される入学者像 ……とくに次のような人材を求めています。

法律専攻 ●法や政治に関心を有し、社会の様々な分野で活躍したいという意欲がある者

法律専門職専攻

法律の専門的知識を活かす職業に就くことを目指しており、 それに必要な基礎学力を持つ者

政治専攻

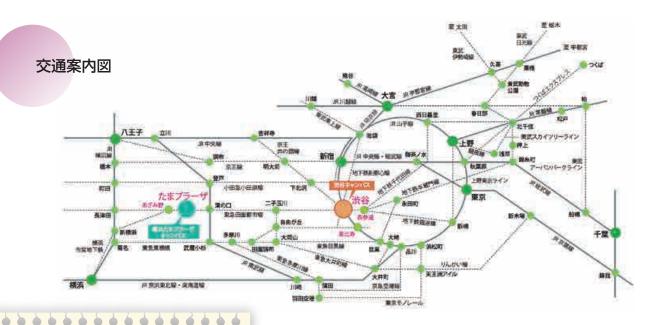
政治に関心を有し、将来政治に関する職業に就くことを目指す者、 または、「よき市民」として政治に積極的に関わる意欲を持つ者

■法学部の入試の種類と日程

11月中旬 公募制自己推薦(AO型)
11月中旬 学士入学・一般編入学
11月下旬 指定校推薦・外国人留学生
1月中旬 V 方式(大学入学共通テスト利用型)
2月上旬 A 日程(3教科型・得意科目重視型・学部学科特色型)
3月上旬 B 日程(2教科型)、法学部特別選考



				A日程			法学部	
	定員構成	AO型	V方式	3 教科型	得意科目 重視型	学部学科 特色型	特別選考	B日程
法律専門職専攻	51人		0	0	0	0	0	0
法律専攻	399人	0	0	0	0	0	0	0
政治専攻	50人	0	0	0	0	0	0	0



駅からの行き方

渋谷駅から

徒歩 JR(山手線)、東京メトロ(銀座線・半蔵門線・ 副都心線)、東急電鉄(東横線·田園都市線)、 京王電鉄井の頭線から徒歩約13分 JR埼京線-湘南新宿ライン 新南口から 徒歩10分

バス 都営バス(東□バスターミナル54番のりば 学03日赤医療センター行)「國學院大学前」 下車【所要時間約10分】

表参道駅から

徒歩 東京メトロ(銀座線・半蔵門線・千代田線) から徒歩約15分

恵比寿駅から

徒歩 JR(山手線・湘南新宿ライン)、東京メト 口(日比谷線)から徒歩約15分

バス 都営バス(西口ロータリー1番のりば 学06日赤医療センター行)「東四丁目」 下車【所要時間約10分】



「こくぴょん 法学部バージョン」

ローマ神話に登場する正義の女神ユスティティ ア。左手の秤は衡平を量るもの、右手の剣は不 正と闘うためのもの。まさに世界の平和と秩序 を守り、正義を実現するシンボルです



法学部ホームページの紹介

國學院大學法学部ホームページ(HP)では、 入試に関する情報や授業に関する情報を随時載 せていきます。本学法学部のことをもっと知り たい方は、一度のぞいてみてください。

國學院大學法学部HPアドレス

http://www.kokugakuin.ac.jp/law/

KOKUGAKUIN UNIVERSITY

Faculty of Law

もっと日本を。もっと世界へ。



パ 図學院大學

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 TEL 03-5466-0141(入学課)